



飯塚市立小中一貫校

穂波東校



● 主な学校行事

	小中合同行事	小学部行事
		中学部行事
4月	小中合同始業式 小中合同研修 (危機管理・9年間プラン)	1年入学式 歓迎集会・遠足 7年入学式
5月	小中合同避難訓練(火災)	家庭訪問 陸上クラスマッチ(体育会代替)
6月	小中合同研修(主題研究) 小中合同研究会	4年社会科見学 6年修学旅行 1学期期末考査 生徒総会
7月	チャレンジ授業 小中合同終業式	個人懇談会 8年職場見学 9年進路説明会
8月	小中合同平和学習 小中合同研究会	学習出校日 三者面談 学習出校日
9月	小中合同始業式 チャレンジ授業	5年社会科見学 穂スポフェスタ(運動会代替) 2学期中間考査
10月	小中合同避難訓練(地震) チャレンジ授業	文化発表会 8年修学旅行
11月	Co-Learning Time(英) 九九ボランティア チャレンジ授業	5年スキー教室 秋の遠足 進路説明会 2学期期末考査
12月	九九ボランティア チャレンジ授業 小中合同終業式	5年サッカー交流 三者面談
1月	小中合同始業式 チャレンジ授業	新1年生入学説明会 新7年生入学説明会
2月	チャレンジ授業	学習参観・懇談会 4年2分の1成人式 学年末考査 8年立志式
3月	チャレンジ授業 小中合同修了式	6年生の卒業をお祝いする会 6年卒業証書授与式 9年卒業証書授与式

● 校時表

小学部		中学部	
～ 8:25	登校・朝読書	登校	～ 8:25
8:25～ 8:35	朝の会	朝の読書	8:25～ 8:35
8:35～ 8:55	学びタイム	朝の会	8:35～ 8:45
9:00～ 9:45	1校時		8:50～ 9:40
9:50～10:35	2校時		9:50～10:40
10:35～10:50	中休み		
10:50～11:35	3校時		10:50～11:40
11:40～12:25	4校時		11:50～12:40
12:25～13:00	給食		12:40～13:15
13:00～13:45	昼休み		13:15～13:40
13:45～14:00	掃除		13:45～14:00
14:05～14:50	5校時		14:05～14:55
14:55～15:40	6校時		15:05～15:55
	チャレンジタイム		16:00～16:10
15:40～15:55	帰りの会		16:10～16:25
16:00	下校		16:25

14:35～15:20 小学部クラブ活動・委員会活動

● 穂波東校小中合同研究会

「9年間教育活動プラン」に示された「小中重点課題」の解決に向け、本年度は以下の3部会に分かれて取り組んでいます。

学力向上部会

日々の学習活動の中で、活用力の育成及び基礎基本の確実な習得ができるように、「穂波東校授業スタンダード」に関する実践や、学力向上の取組に関する実践を交流し、連続的な学びの具現化を図っています。

生徒指導部会

不登校の未然防止・解消に向けた取組が日常的に行われるために、「穂波東校アクション3」「穂波東校引継ぎシート」に基づく実践を交流し、連続的な積極的な生徒指導の具現化を図っています。

未来の教育部会

これからの時代に求められる資質・能力の育成ができるように、キャリア教育・プログラミング教育・ICT教育・英語教育の各視点で小中の実践を交流し、発達段階に応じた連続的な指導の具現化を図っています。

穂波東校校歌

「未来へ(あしたへ)」

作詞 辻内 智貴
作曲 森脇 憲三

一 陽(ひかり)さす 学びの窓に
仰ぎみる 空より高く
翔(はばた)けよ 翔けよ
穂波東の 学び舎は 学び舎は
未来(あす)の翼よ

二 晴れ晴れし 竜王の山
幾つもの 時代を映して
歌(うた)のせ 声(こゑ)のせ
緑(きよ)そよぐよ
永遠(とこよ)の 永遠(とこよ)
風(かぜ)うけながら

三 肩(かた)ならべ 心(こゝろ)つないで
夢(ゆめ)青(あお)き 空(そら)の空(そら)
顔(かほ)あげて 歩(あゆ)こうよ
穂波東(ほなみ)の 大空(おおぞら)に 大空(おおぞら)に
映(うつ)ゆる 未来(あした)へ

〒820-0073 福岡県飯塚市平恒 1021 番地 1
TEL : 0948(22) 0579[小] / 1052[中] FAX : 0948(22) 0535
E-mail : honamihigashikou@city-iizuka.ed.jp

9か年の連続性のある「学び」「育ち」を追求した教育活動

穂波東校教育目標 **社会を生き抜く力の根っこを育てる**

9年間教育活動プラン ※「小中重点課題」(太字)に対し、「小中合同研究会」にて課題解決に向けた取組を行う。

校種	小学部						中学部			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
学年	前期			中期			後期			
目標	知 確かな学力	学カテスト (NRT・標準学力調査・フクト・全国学テ・県学テ) における全国・県平均以上の学力								
	徳 豊かな心 規範的行動 耐性	学習規律の定着、基礎基本の習得・定着			習得した基礎的・基本的内容を活用する力			他者と協働し課題追求・解決する力		
	体 健やかな体	新体カテスト調査における全国平均達成項目：2分の1以上の体力								
取組	知 確かな学力	協調学習 穂波東校授業スタンダード ICT教育 (タブレット端末等の活用)								
	徳 豊かな心 規範的行動 耐性	多層指導モデルMIM、学びタイム、ステップアップ 徹底反復学習 (陰山メソッド)、学習規律の指導			学びタイム (小)、ステップアップ (小)、補充タイム (小) チャレンジタイム、再チャレンジ学習 (中)、自学ノート (小・中)			チャレンジタイム、再チャレンジ学習、自学ノート		
	体 健やかな体	日常的な凡事徹底の指導 「手本」の指導 キャリアパスポート SEL-8S 人権学習 不登校の未然防止・解消 (「穂波東校アクション3」, 「穂波東校引き継ぎシート」)、個別の教育相談、								
課題	知 確かな学力	学カテストにおいて、次の課題が見られる。⇒「活用力の更なる育成」「基礎基本の確実な習得 (二極化の解消)」「これからの時代に求められる資質・能力 (英語力・プログラミング的思考力・ICTリテラシー等)」の育成を充実する必要がある。								
	徳 豊かな心 規範的行動 耐性	学習規律が定着していない。記述問題の正答率が低い。「MIMの3rdステージの児童」を減らす必要がある。			全国学力調査及び県学力調査において次の課題が見られる。⇒国語・算数(数学)活用型問題、記述式の問題の正答率が平均以下である。			全国学力調査及び県学力調査において次の課題が見られる。⇒数学の活用型問題、記述式の問題の正答率が平均以下である。		
	体 健やかな体	挨拶、整理整頓で課題が見られる。中学部生徒には今以上「手本」の意識を育てる必要がある。 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より不登校の児童生徒が多い。								
		ふわふわことばの木、二分の一成人式、いいところ見つけ			生徒タイム・シティ (小) ファイブ・パーク (中) 情報モラル・スキル学習			職場見学・体験学習、立志式 情報モラル・スキル学習		
		体力向上：一校一取組 (「やかたトレーニング」(小) 「ファイブ・ミニッツ・トレーニング」(中))			体カアップシートの活用			食育・健康教育		
		スポコン広場への参加			スポコン広場への参加 (小) 運動部活動 (中)			運動部活動、体育的行事 (クラスマッチ等)		
		学カテストにおいて、次の課題が見られる。⇒「活用力の更なる育成」「基礎基本の確実な習得 (二極化の解消)」「これからの時代に求められる資質・能力 (英語力・プログラミング的思考力・ICTリテラシー等)」の育成を充実する必要がある。								
		自分の思いを伝えきれないことによるトラブルが多い。			「SNS上におけるトラブル」が起きている。(後期も同様) 将来の夢や目標を持っていない児童生徒が多い。			将来の夢や目標の実現に向け、主体的に粘り強く取り組めない生徒が多い。		
		【R3】体カテスト：全国平均以上：小：45/96項目 中：10/48 ⇒ 特には中は全国平均達成率が2分の1以下であり、更なる体力向上を図る必要がある。 基本的な生活習慣・望ましい食習慣の未確立の児童生徒がいる (一部の児童は不登校・学力不振へつながっている)。								
		意欲的に進んで運動をすることでの二極化が見られる。			望ましい運動習慣の確立において二極化が見られる。			体力面において二極化が見られる。		

特色ある教育活動

9年間を通した「穂波東校授業スタンダード」

小中連続した「主体的・対話的で深い学びの実現」、教師主導の「教え込む授業」から児童生徒が主体となる「考え学び取る授業」への授業改善をねらいとして、穂波東校授業スタンダードに基づいた授業づくりを行っています。



異学年交流授業 (Co-Learning Time)

児童と生徒など学年の異なる子ども達が相互に交流し、学び合う「Co-Learning Time」(異学年交流学習)、略してCLタイムと呼んでいます。 中学部の生徒が先生役となり小学部の児童に学習の支援等を通して、小学部児童のモデル形成や中学部生徒の自尊感情の向上を図っています。

小学生が中学部に出向いて受ける授業 (チャレンジ授業)

小学部の児童が中学部の教室に出向いて、中学部の教員から授業を受けます。小学部から中学部への進級において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、円滑な接続を図り、児童に中学部へ進級して学ぶことをより強く実感させることができます。